

# 千年の都・京都発！SDGsとレジリエンスの融合 しなやかに強く、持続可能な魅力あふれる都市を目指して

## 京都府京都市（2021年度選定）

<h3>1. 地域の特徴と課題及び目標</h3>	<p>世界でも類を見ない「多様性と奥深さを有する都市」であり、「大学のまち」、自治の伝統が息づくまちでもある。また、大都市でありながら、過疎地域等も抱え、人口減少等の問題は全国各地とも課題意識を共有する。一方、地域資源が豊かで各地域に固有の悠久の歴史や奥深い伝統と文化、多様な魅力と個性があり、地域の暮らしと人々の絆がいきいきと息づく、京都ならではの奥深く重層的なまちの本質となっている。人口減少の本格化、地球温暖化の加速、グローバル化の進展、産業構造の転換と厳しい京都市財政が課題であり、京都市の強みである「文化」を基軸に、SDGsとレジリエンスの理念を融合し、すべての施策立案の基礎に据え、「しなやかに強く、持続可能な魅力あふれる京都」を目指す。</p>	<h3>2. 関連するゴール</h3>	
<h3>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</h3>	<p>「京都市レジリエンス戦略」の6つの重点的取組分野に沿って、2030年のあるべき姿の実現に向けた様々な施策・取組を実施する。三側面（経済・社会・環境）をつなぐ統合的取組である「超SDGs×レジリエンス テラス事業」では、京都産学公SDGsプロジェクトやきょうとSDGsネットワーク、公民連携・課題解決推進事業等に取り組んでいる。</p>		
<h3>4. 自治体SDGs推進等に向けた取組</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都産学公SDGsプロジェクト             <ul style="list-style-type: none"> <li>産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」※により、「SDGsの情報発信」や、「京都SDGsパートナー制度（SDGs登録・認証等制度）」等だけでなく、万博に向けた共創事業に取り組む。</li> <li>※京都大学をはじめ、企業・団体、京都市など23者で構成する組織</li> </ul> </li> <li>● きょうとSDGsネットワーク             <ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関、関係団体、大学等と連携し、社会課題の解決や地域の持続的発展に貢献する事業者等を一体となってサポートし、社会経済の好循環を生み出すことにより、SDGsを推進する。</li> </ul> </li> <li>● 公民連携・課題解決推進事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>「KYOTO CITY OPEN LABO」をハブとして、民間企業と担当部署が連携を行うことで、様々な行政課題の解決に取り組む。</li> </ul> </li> </ul>	<h3>6. 取組成果</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都産学公SDGsプロジェクト             <ul style="list-style-type: none"> <li>京都市が主催する、万博に対する企業・市民等の関心度の向上やSDGsへの取組の機運を高めることを目的とした「きょうとSDGsフェアin KRPフェス2023～大阪・関西万博に向けて～」の一部コンテンツを開催（延べ聴講者数：237名）</li> <li>「京都SDGsパートナー制度」を運用（登録者数162名/2024年8月末時点）</li> <li>「ごみゼロ共創ネットワーク」を運用（ごみゼロアプリの開発・使用促進を通じ、環境の改善を目指す取組等を実施）</li> </ul> </li> <li>● きょうとSDGsネットワーク             <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク全体の登録者数 3,924者（2024年6月末時点）</li> </ul> </li> <li>● 公民連携・課題解決推進事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>移住を検討されている方へのお試し居住プログラムの試験実施や、地域の保険代理店が地域団体の防災まちづくりをサポートする取組を実施（86件/2024年8月末時点）</li> </ul> </li> </ul>		
<h3>5. 取組推進の工夫</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「京都産学公SDGsプロジェクト」では、シンポジウムやワークショップの開催等により、企業・市民等に幅広く知見や最新技術などを共有し、新たな取組主体の発掘や育成及び情報発信を行った。</li> <li>・「きょうとSDGsネットワーク」では、さらなる活性化をはかり、構成団体同士での定期的な対話、協議及び情報交換を行った。</li> <li>・「公民連携・課題解決推進事業」では、より実効性を高めるため、企業向け説明会及び交流会を開催し、企業との対話の機会を拡充した。</li> </ul>	<h3>7. 今後の展開策</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万博を契機としたSDGsの普及啓発及び情報発信</li> <li>・京都産学公SDGsプロジェクトによる取組の継続・進化</li> <li>・きょうとSDGsネットワークにおける参画団体（各制度主体等）との更なる連携強化やネットワーク参加者への新たな取組検討（交流会や勉強会の開催、多様な事業者等が連携する場の創出等）</li> </ul>		
<h3>8. 他地域への展開状況（普及効果）</h3>	<p>他都市からの視察受入、ラジオ番組出演やSNS（YouTube等）での啓発、フォーラム等への登壇・展示のほか、「公民連携・課題解決推進事業」では、名古屋市と共同で提案募集説明会及び交流会を開催（2023年12月）。</p>		